

切っ子

学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成



文責 菊池 典男

◇ 6年生長崎修学旅行！！たくさんの思い出ができました！

6年生は10月10日～11日に1泊2日の長崎修学旅行に竹木場小学校と大良小学校の6年生とともにってきました。2日とも曇一つない晴天に恵まれ、長崎の歴史・文化や平和について楽しく学びました。

1日目は、長崎の歴史と文化について学びました。

班別の自主研修（A班、B班、C班、D班）だったので、長崎歴史文化博物館を全員で見学した後は、各班とも事前研修で決めた見学ルートにしたがって研修を行いました。私はA班の引率だったので、A班の子どもたちの様子を紹介させていただきます。長崎歴史文化博物館を見学後に向かったのは、眼鏡橋でした。

子どもたちは、地図を見て右往左往しながらも眼鏡橋に到着しました。その日は天気がよく気温も高かったので、子どもたちは長崎名物の「チリンチリンアイス」を買っておいしそうに食べていました。眼鏡橋で有名なハートの石も発見して満足そうにしていました。

子どもたちが次に向かったのは新中華街でした。徒歩で20分ほど歩くと、中国風のきらびやかな門が見えてきました。門をくぐり中華料理店や中国のおみやげを売っているお店などが所狭しと並んでいる中を見学しながら東西に抜け、道を挟んで中華街の隣の公園で昼食をとりました。昼食後、江戸時代に、外国（オランダ）との貿易を唯一行っていた出島へ路面電車を利用して行き、当時を再現した商館や住居を見学しました。見学後、再度、満員の電車にゆられ大浦天主堂近くの駅で降り、軍艦島デジタルミュージアムで軍艦島の歴史を学びました。それから、すぐ近くにあるグラバー園へ行き貴重な洋風建築を見学した後、集合場所近くのホテルモンテ長崎で宿泊をしました。



6年 古川 信行



軍艦島デジタルミュージアムで、初体験のVR（バーチャルリアリティ：コンピュータでつくられた三次元空間を視覚その他の感覚を通じ疑似体験できるようにしたもの）を見て、とても興奮しました。自分が夢にまで見て、したかったことを実現できる長崎は素晴らしいと思いました。そして、どういう所か分からなかった眼鏡橋ですが、見つけたときは「おお、たしかに眼鏡だ」と感動しました。そこで食べたチリンチリンアイスは球体と思っていましたが、見ていくうちにバラに見えてきました。ぼくは「おお職人技だ」とつくづく思いました。とてもおいしかったです。帰ったら、自慢したいです。

◇ 「過去を知り、今を見つめ、未来に生かし、すばらしい人生を」！！被爆者講話！

2日目は、班別ではなく全員一緒に平和について学びました。

まず、原子爆弾落下中心地の松山公園で平和集会を行いました。各校で用意した千羽鶴を献納したり、歌「折り鶴」を合唱したりしました。また、長崎市出身の濱井先生が、ご自身の家族や親戚が原子爆弾を投下されて体験されたことを話されました。子どもたちは真剣な表情で話を聞き、戦争の悲惨さを知るとともに平和の尊さを感じている様子でした。



その後、原爆資料館を見学しました。館内には原子爆弾投下後の街や人々の様子の写真や遺留品等が展示されており、子どもたちは食い入るように見学していました。



見学後に原爆資料館内の研修室で被爆体験をされた下平作江さんの講話を聞きました。

下平さんは10歳の時に、爆心地から800m程離れた防空壕で被爆されました。防空壕（横穴）にいた妹と甥は一命を取り止めましたが、母親や兄、姉、親戚を亡くされ、親子や兄姉との絆を絶たれてしまいます。生き残った後も食べる物はもちろんのこと、何も無い苦しい生活を強いられます。そんな中で、妹さんは貧しさに負け、病気に負け、母を恋しがって、小学5年生の時に列車に飛び込み鉄道自殺をされたそうです。話の中で、「みなさんは死ぬ勇気と生きる勇気を並べられたら、生きる勇気を選んでください」とおっしゃった言葉が子どもたちの心に響いているようでした。

実際に、被爆を体験された下平さんの言葉一つ一つに魂が込められていました。話を聞きながら、3年前にアメリカのオバマ大統領が初めて広島を訪問した時のスピーチにあった「原爆が落とされた時に思いを馳（は）せています。子どもたちが目にしたこと、そして声なき叫び声に耳を傾けます。罪のない人々が、むごい戦争によって殺されたことを記憶します。」と言ったことを思い出しました。

子どもたちは下平さんの講話を自分自身や家族に置き換えて聞いていました。涙を流している子どももそうでない子どもも、すべての子どもたちが原爆を落とされた時に思いを馳せ、当時の悲しみを「想像し、感じた」のではないかと思います。下平さんは、講話の最後に子どもたちに向けて「過去を知り、今を見つめ、未来に生かし、すばらしい人生を歩んでください」と、おっしゃいました。



話し終えた下平さんにお礼を言いに行くと、下平さんから「もう何十年も、数えきれない学校の子もたちに話をしましたが、こんなにも真剣に聞いてくれたり質問をしてくれたりした学校はありませんでした」と、涙を流しながら褒めてくださいました。

◆ 11月1日に研究発表会が開催されます！！参観をお待ちしています！

11月1日（金）に小中連携による学力向上推進地域指定事業の公開授業が開催されます。本校は今年度より2年間、県より研究指定を受けています。研究テーマは「授業と家庭学習の連動」で、2・3年生担任の徳永先生が2年生の算数で、5・6年生担任の濱井先生が6年生の社会で、授業を5時間目（14:05～14:50）に公開します。子どもたちの成長とがんばりを見ることができると思いますので、たくさんの保護者の方の参観をお待ちしています。